

■東京農業大が2年ぶり1部復帰。1、2部入れ替え戦

第49回北海道学生選手権は最終節の11月3日、江別市の札幌学院大グラウンドで1、2部の入れ替え戦を行い、東京農業大（2部優勝）が42-0で北星学園大（1部6位）を下し、2年ぶりの1部復帰を決めた。北星学園大の2部降格は2009年以来。

東京農業大は第1Q4分、RB大類楽（3年、神奈川・平塚農商高）の12ヤードランTDで先制すると、第2Q4分にQB金井康晴（4年、神奈川・舞岡高）からWR浅川夏暉（1年、東京・安田学園高）への19ヤードパスでTD。1分後にはQB金井の2ヤードキープTDで加点した。後半はWR木村拓海（2年、山形・上山明新館高）のTDラッシュが飛び出した。第3Q4分、2人目のQB関叶翔（1年、茨城・日立北高）からの13ヤード弾を、エンドゾーンの中で左手ワンハンドで好捕すると、第4Q4分にはQB金井からの30ヤードTDパスをキャッチ。同7分にもQB金井の38ヤードロングパスを鮮やかにキャッチして、3本目のTDを決めた。



選手12人の北星学園大はRB箕浦空哉（3年、帯広緑陽高）のランとQB中手龍一（4年、札幌静修高）のパスで攻めたが、反則で攻撃のリズムを崩し、敵陣にボールを持ち込むこともままならなかった。

東京農業大の高嶋雄也監督は「勝因は金井に尽きる」と1部復帰の立役者をねぎらい、「来季は選手全員とコーチングスタッフのチーム総動員で臨みたい。卒業で抜けるのは金井だけなので、選手の飛躍に期待したい」と早くも来季に期待した。3TDパスのQB金井は「昨年の1部全敗は自分の責任。最後の年に後輩たちに、1部で戦う希望を託せた」と胸をなで下ろした。殊勲の3TDキャッチのWR木村は「1本目のワンハンドキャッチは、点を取って金井さんの有終の美を飾りたかった。来年はWR浅川と切磋琢磨して頑張りたい」と晴れ舞台復帰に決意していた。